



OUT THERE Itoshima 志摩園だより

2015. 10. 31発行
社会福祉法人
志摩会
第49号

福岡県糸島市志摩久家2527番地の2
TEL092-328-2121
E-mail shimakai@proof.ocn.ne.jp
<http://www.shimaen.or.jp>

特別養護老人ホーム志摩園
ショートステイ
デイサービス
ケアプラン
配食サービス

小規模多機能型居宅
介護

糸島市志摩地域包括
支援センター

地域貢献：オレンジ志縁隊・げんき志縁隊・せいかつ志縁隊、たまり場岐志・桜野・
姫島茶所、おこもりカフェ岐志浜



2015. 7. 31撮影

洋々たる見晴らしのよさ…

視点が変われば景色も違ってきます

自分では気づかなかった身近なものの魅力に驚かされます

私たちの生活も仕事も見通しのきくことがまれで、迷ったり、悩んだり…

せめて、

ときどき空想の世界で、空を飛んで、行く道確かめてみたい



立秋の

夜が

いちばん長く、熱かった志摩園



8月8日は二年分の情熱込めた志摩園夏まつりをみんなで駆け抜けました



今年の暑さのピークの頃、職員と祭りボランティアの皆さんで手際よくスタンバイ！



糸島農業高校太鼓部 様



ヘルシーサークルあみん様



パッションハート様



式世昌女会桜野教室様



ダンスサークルパセリ様



砂川勝廣様



福岡amani様



天気もプログラムも順調、終始安定したイベントでした … 全てに感謝。



社会福祉法人志摩会の所轄庁が糸島市に変更後、初めての指導監査が8月19日に実施されました。

指導監査とは…社会福祉法人の適正な運営と円滑な事業実施を図るため、社会福祉法第56条第1項の規定に基づいています

【本部運営上の改善事項】

- ①役員選任時に暴力団関係者でないことの申立を加える
- ②定款及び経理規程の一部文言修正
- ③役員等費用弁償規程に評議員への支出を追加する
- ④寄付申込があった場合、寄付者自らの申込書への署名・押印を徹底

- ⑤評議員会議事録に署名年月日の記載漏れがあった
- ⑥議事録の全理事への回覧又は交付の徹底

- ③貸借対照表・財産目録と注記記載の金額の不一致があり、注記の金額の訂正もれがある

- ④ネットバンキング利用時、複数の職員が関与する体制を整える

【本部会計上の要改善事項】

- ①会計責任者並びに出納職員の辞令交付もれ
- ②経理規程で固定資産管理責任者を配置することになっているので当該責任者を任命する



●当日は、福岡県介護保険課による特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)志摩園の指導監査(実地指導)も行われました。

【入所者処遇】

- ①緊急やむを得ず身体拘束を実施するにあたっては「身体拘束に関する説明書」に拘束解除の予定期限を設定する
- ②感染対策マニュアルは定期的に見直し、職員が見やすい場所に保管する

- ③給与の口座振込及び給与からの法定外控除について、職員の代表者と協定を締結すること

【給食】

- ①時間外勤務協定(36協定)について、遅滞なく労基署に届け出る
- ②職員の雇入時健診について、労働安全衛生規則第43条に基づき適正に実施する(期限の遵守)

- ①朝食の検食は、調理従事者(栄養士を除く)以外の職員が実施する
- ②給食会議が給食サービスの総合的見地から意見交換の場となるよう、給食会議への施設長(介護職員、看護職員)の参加を検討する

【災害対策】

特に指導事項なし

【施設会計】

- ①寄付金の申込書は、寄付者自らが署名したものを徴する
- ②固定資産の購入について契約書が確認できないものが1件あった。作成した契約書は施設内で保管する

※介護保険法に基づく実地指導上の指摘事項なし



◇ 認知症カフェが求められる背景

厚労省は、2025年には認知症患者は700万人（65歳以上の高齢者の5人に1人）超との推計値を発表しました。糸島市でも高齢者人口の増加に伴い、今後、認知症の人は増えることが予測されます。

それに伴い、認知症の社会的費用（医療費、介護費、家庭介護費）もますます大きくなります。

これからは、地域包括ケアシステムの中に「認知症ケア」を具体的に確立していくことを「みんな」で考え、実行していかなければなりません。

それは、認知症（ケア）のアプローチを従来の手法から新しいものに変えていくことから始まります。認知症の人を医療や介護サービスの対象者、ケアを受ける人としての存在から、社会の中の一員として生活できるよう接していくことが大切になります。

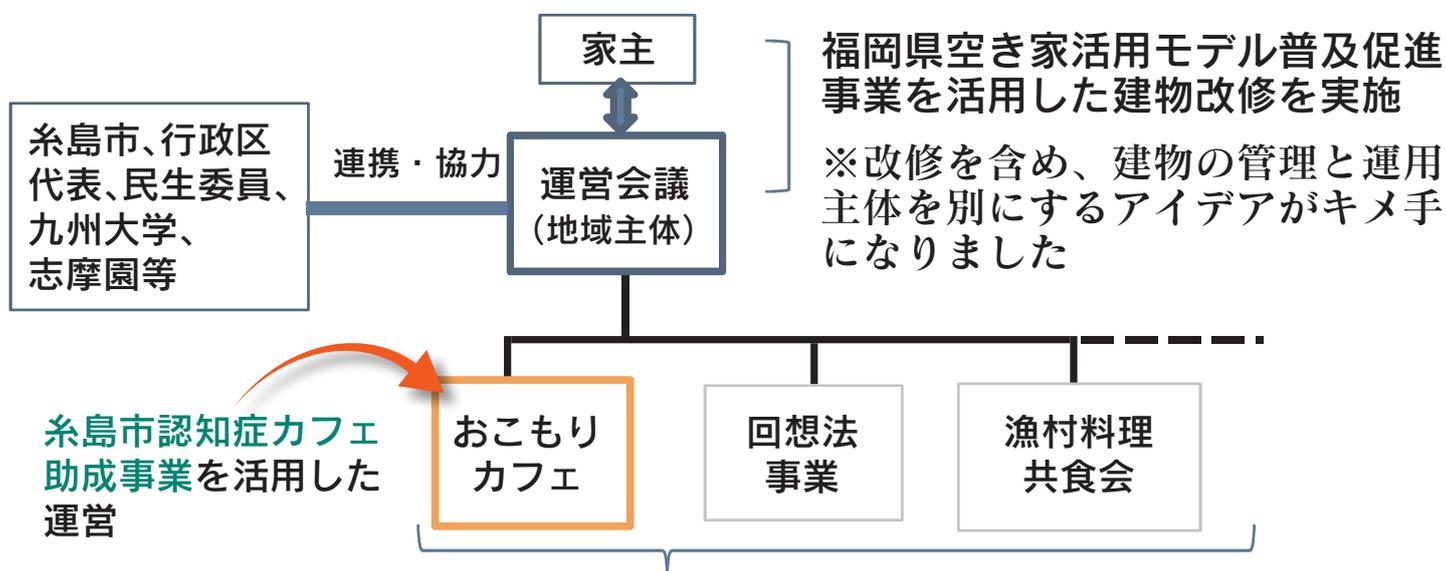
全国的に見ても、認知症初期の方や65歳未満で認知症を発症された若年の方たちが以前とほぼ同じ生活を継続できるための環境がないこと、つまりこれまでのサービスではこれらの方の生活を支えることが不十分であることが課題として取上げられています。

これはまた、ご本人のつらさだけでなく、一緒に暮らすご家族のつらさでもあります。ですから、認知症（ケア）は本人、家族の不安、負担の軽減支援が不可欠です。さらには認知症は誰もが身近に経験する可能性が高い病気であり、決して自分には関係がないとは断言できません。

ここに地域住民や専門職の皆様も支援に参加できるような仕組みが必要になりました。そのひとつが 認知症カフェです。

志摩会は既に実施している法人の社会貢献活動と同様、法人の機能をより地域に還元する機会と捉え、さらに地域からの開設の要請に応えるために志摩岐志地区におこもりカフェとして開設を決めました。

◇ 事業のスキーム（予定）



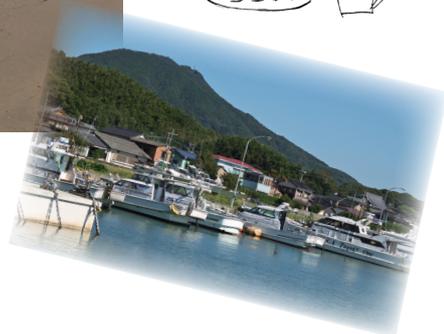
他の事業協力団体とのコラボレーション形式で志摩会はカフェの部分を主に担当します



古民家型 おこもりカフェ岐志浜



おこもりカフェ岐志浜
(旧土井良文文家住宅)



参加できる方

- ・ 認知症のご本人(若年性認知症含)
- ・ 認知症の診断は受けていないが、物忘れ、記憶力の低下など気になる方
- ・ 認知症の方を介護しているご家族
- ・ 身近な人が認知症かも?と心配な方
- ・ 認知症(介護)に関心のある方
- ・ 認知症以外の方で家に閉じこもりがちの方 など

カフェの内容

認知症の方や介護を担うご家族同士の交流の場です。日頃のつらいことも喜びも誰かに話を聞いてもらえれば、また前向きになれる。それは「同情」から「共感」へと深化していくものです。専門的なご相談には地域包括支援センター等の職員が対応致します。ご参加は認知症の方と家族の同伴が基本となります。(参加者のプライバシーは守られます)

開催スケジュール …おこもりカフェ岐志浜は**月2回**開催します。
(参加者の受入時間は各日とも13時20分～16時20分です)

参加料金 お一人100円(別途、活動材料費等の発生することあり)

平成27年

〈定番メニュー〉

11月 7日(土) おしゃべり、カフェタイム、認知症のことなどの相談対応(志摩
11月14日(土) 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の専門職員が
12月 5日(土) います)
12月19日(土)

〈週替メニュー〉

平成28年

1月 9日(土) 専門職者によるミニ講義、演奏会、散歩、遠方への外出、各種
1月23日(土) ボランティア活動、創作活動等

介護認定をお持ちの方も利用可(但し、心身の状態によります)

※平成28年2月以降も毎月第1、第3土曜に開催予定です。下記にてご確認下さい

市民
ボランティア
募集中です

主 催
(お問合せ先)

社会福祉法人志摩会 特別養護老人ホーム志摩園
電話 092-328-2121
HPアドレス <http://www.shimaen.or.jp>



◆引津小学校4年生と交流が始まりました (報告 生活相談員 柴田美穂)



▶担任の友池先生からご相談を受け、2学期の総合学習の時間を活用して、志摩園入園者や職員との交流が始まります。事前の先生との話合いで子供達の高齢者のイメージは、「何でも教

えてくれて、優しく、元気」というものでした。以前の公民館での交流体験がもとになっているようです。老人ホーム入所の皆さんとのギャップは大きい、大丈夫だろうかと心配になります。そのため子供達が志摩園を訪れる前に、私たちが小学校の視聴覚室で「老いていくとは」「認知症とは」の2つのテーマで事前の「講義」を行いました。講義の準備も、この漢字は読めるだろうか、専門用語は使

えないよねなど、出前講義を担当する職員と打合せしながら、小学生向けの認知症サポーター研修資料をアレンジして使いました。いざお話が始まると、私自身子供達を目の前にして、緊張が一気に吹っ飛ぶくらい、一生懸命聞いてくれて、45分の授業時間もあっという間でした。志摩園に来たことがある子供も多く、老人ホームの高齢者を想像以上に分かっていました。(次号に続く…)



オープンテラス完成

8月下旬、ショートステイの光庭にウッドデッキのオープンテラスが完成しました。

段差を小さくして、車イスでも外にできることができます。天気の良い日は、おしゃべりに、カフェタイムに、趣味活動などに、また、ご家族との面会スペースとしても利用ください。

デイサービスセンターの浴室改修

〈ご利用者の感想〉

- ・お風呂がきれいになって明るい
- ・一人用なので、ゆっくりできます
- ・お尻が底に着くので安心
- ・座って入れるので、体が浮かず、足を自分で揉んだり出来て快適



〈職員の評価〉

- ・ご利用者が自分のペースで入浴できている
- ・個人浴槽なので万が一の時も素早く対応できる
- ・ご利用者のお顔(表情)を確認しながら入浴動作を行える



特養志摩園に併設するデイサービスセンター志摩園は平成5年の完成から20年以上が経過し、水廻りの設備の老朽化がみられ、浴室のリニューアルを実施。開設当初は大浴槽も活躍していましたが、今では個人浴槽や特殊浴槽の使用が適切な方が増えてきました。

連載
企画

いろんな職種から見た 介護の仕事

(第6回)

職員ルー



志摩会に働く170人余りの職員の皆さんに仕事や職場、仲間への思いなどを語ってもらっています …

ご縁があって入園されて、志摩園に来て良かったと思って頂ければ幸いです



吉村 美恵
(特養 看護師)

スタッフの助けがあったからだ
と感謝しています。とりわけ、5
年前正看護師の資格が欲しく
て、通信制の学校に通わせて頂
いたとき、仕事と学校を両立し
なければならぬ2年間は大変
でしたがそれ以上の学ぶことの
楽しさを味わいました。

◆現在、志摩園のターミナル委
員会の委員長を任命され、人の
最期の時に立会わせて頂いた
とき、とても有難く感じます。どこ

で、どう亡くなるかより最期の
時までその人らしく幸せな人生
であってほしいと願い、入園さ
れたその日から互いの理解を深
めていきます。

◆気分転換は温泉旅行です。や
まなみハイウェイを走るのが好
きで(私は助手席です)、壮大な
景色に前向きになります。

◆目下の悩みはガラケーのまま
か、スマホに変えるか…(メカに
弱いから)です。

◆志摩園には平成6年2月に入職
しました。あれから、今日まで頑
張ってこれたのは家族の協力や



長友 かよ子
(特養 介護福祉士)

今も宮崎弁が抜けない慌テンボウな私ですが、皆様に助けられ頑張りたい

を見つけ、応募したことです。
研修を終えてもしばらくは事
務の仕事をしていました。

ある日夫が志摩園の求人広告
を見つけ、50歳に手が届く私
は半ば諦めての面接でしたが
平成15年の春から全く未知の
この仕事に挑戦することにな
りました。

入所者、職員の皆様と上手く
やれるか不安な日々でしたが、
職員の方が一つ一つ丁寧に教

えて下さり、次第に入所者と
ご家族の方々とコミュニケー
ションを取りながら毎日新し
い発見ができました。

皆様には迷惑の掛けっぱなし
だったと思いますが、そんな
中、「初めからできる人はいな
いのよ、毎日努力あるのみ」
と励まされ、手を取り教えて
もらい13年間で過ぎます。

◆“介護”との出会い、初めは
父母の先々の少しでも役に立
てるのであればと考え、市役
所のヘルパー研修案内の広告



眞方 祥亮
(特養 ケアマネジャー)

ご利用者が楽しめることを考えるのが即ち私の楽しみであり、仕事の動機づけに

ことは、サービスご利用者に楽
しんでいただくこと。そのため
に他の職種の方と相談をし、ケ
アについて話合うことも大切
な楽しみですし、色々な考え、
感じ方を共有でき、刺激を受け
充実した毎日です。

私の趣味はスポーツ、特に野球
です。早朝野球をやっており、
朝は辛いですが、勝っても負け
ても、打てなくても試合後は気

分爽快です。その姿を子供たち
に見せて子どもたちが「野球を
やりたい」と言ってくれること
が目標です。

もう一つが写真です。昔は被写
体になるのは苦手で専ら撮る
側でしたが、今は撮ることが楽
しく、子供のために一眼レフを
買いました。携帯では何げない
風景、雲の形も。

◆志摩園入職8ヶ月目です。
介護保険制度が始まった平成
12年度から働き始め、業界歴15
年目です。常に大事にしている

Info

9月29日 職員全体会議

1部は外部講師をお招きして、
マイナンバー制度について学び
ました



第2部は事故対策・医療安全委員会から青柳介護主任によるリスクマネジメント研修です。

食時、入浴、排泄、移動、移乗、見守り介助場面毎に日々の実践からフィードバックした、とてもキレのある、正鵠を突いた助言を得ました。

【11月以降の予定】

11/ 7(土) おこもりカフェ岐志浜内覧会
12/12(土) パナソニックシステムネット
ワークス労組福岡支部来園



講師は野田小夜子社会保険労務士(筑紫野市)です。市民、職員、事業者としてそれぞれの側面でマイナンバー(カード)の使用や保管、手続き上のポイントを具体的に、解りやすく説明がありました。志摩会としても職員やその家族の情報管理についてしっかり体制構築します。

【編集後記】 志摩会でも専門学校、高校の来春新卒予定者のリクルートが佳境を迎えています。就職戦線全体を見渡すと、特に大卒予定者の大企業を中心とした採用選考時期変更の申し合せで、昨年までと随分様相が変わっています。結果は学生、企業、大学…どの立場からもあまり歓迎されなかった評価が下されそうです。かく言う、私も来春大学を卒業する予定の子をもつ親として、その動向は気になっていました。

私自身は企業訪問等の就職活動をしたことがありません。公務員試験一本に絞り、受験勉強は必死にしました。公務員試験も都道府県や大都市の採用試験は同じ日に実施されるので、その年の受験チャンスは一回しかありません。それ以外の市町村は少し遅い時期でしたので、範囲を広げればもう少し機会は増えました。仕事だけは他には絶対譲れないと、4年生で合格できなければ留年するつもりでした。

長くて、卒業がない仕事社会だから、自分の好きな仕事に就いて、誇りを持って職業人生を全うしたい、好きな仕事ができることが一番幸せだと思っていましたし、今でもそう思います。

そして、あのころは自分が頑張ればなんとかなる世の中でもあったような気がします。

実際は、公務員は10年で辞めて、以来私はこの仕事をしておりますが、ここでも誇りを持って日々過ごしています。自身意外なのは、志摩園をとおして、いろいろな職業に従事しておられる方たちと知り合い、若い時には全く興味がなかった仕事がやってみたくなることはよくあります。

4月の下旬、ポール・マッカートニーのツアーのために東京ドーム界限を数日間たむろしましたが、その間、リクルートスーツの若者の集団を何回見たことか。(オレは平日に休んで、こんなところを真昼間ウロついているけど、この人たちの中には今日人生が決まるかもしれないと思いを馳せたら、複雑な気分になりました)。でも学生さんたちの表情はどこか余裕があって、売り手市場と言われる昨今の需給状況を追い風にしているようにもありました(選考解禁、3ヶ月前のことです)。

さて、わが子も数々のゲートをこじ開け、10月1日は第一志望の職場の内定式に出席しました。親としては、よく頑張ったと声をかけることしかできませんが、これからは大変なこともひっくるめて、仕事を楽しんでほしいと願っています。

(A・K)